



写真：アカマツの落ち葉の下から姿を現したベニバナギンリョウソウ（撮影：令和元年6月15日）

## 「ベニバナギンリョウソウ」

ベニバナギンリョウソウ *Monotropastrum humile* ツツジ科ギンリョウソウ属

### 紅花銀竜草

（一）ヤマキリシマの花の盛りが過ぎると、シトシトと雨の降り続く梅雨。登山者の姿は減り、少し静かな霧島山。しかし、植物たちは山の中で雨水をグングン吸い込んで成長します。

積もった落ち葉を押し上げるように姿を現したのは、目を疑うような鮮やかな色彩の植物「ベニバナギンリョウソウ」です。大抵の植物は緑色をしています。この植物は光合成をしないため、緑色の色素はおろか葉すらありません。驚くことに栄養は地中のきのこの本体である菌糸から、もしくは菌糸を通じて周辺の樹木の根から得ています。

漢字で書くと「紅花銀竜草」。近縁種のギンリョウソウは白く薄ピンク色で、本種は濃いピンク色をしています。どちらも地表に現れた様子が竜の姿のような形をしています。ギンリョウソウが咲き終わった6月初旬から中旬ごろ、主にアカマツ林で見られます。

（文）えびのエコミュージアムセンター